

外務大臣 河野 太郎 様

岩国基地における空母艦載機着陸訓練について（要請）

平成 30 年 4 月 26 日付けで、天候等の事情により、硫黄島において所要の訓練が実施できない場合には、米空母艦載機の着陸訓練を 5 月 10 日から 5 月 13 日までの間に米軍岩国基地等において実施するとの報に接しました。

本市ではこれまで、米空母艦載機の岩国基地移駐に伴う、恒常的な空母艦載機着陸訓練施設の県内及び瀬戸内海地域への設置は、周辺地域における騒音被害や事故発生の危険性の増大など、市民の安全・安心が脅かされる懸念があるため、容認できないという意向を、関係自治体と連携し、国に対して繰り返し表明するとともに、中止を要請してきました。

こうした中、岩国基地において、艦載機の着陸訓練の実施の可能性が示されたことは、誠に遺憾です。この訓練が実施されることとなれば、騒音被害等、地元住民に多大な影響を与えることとなり、本市としては、容認することはできません。

つきましては、米空母艦載機の着陸訓練の実施について、岩国基地を使用することなく、硫黄島で所要の訓練を完了するよう、また、今後の訓練において、硫黄島の代替施設として岩国基地を指定しないよう、米側に求めることを要請します。

平成 30 年 4 月 27 日

江田島市長 明 岳 周 作



防衛大臣 小野寺 五典 様

岩国基地における空母艦載機着陸訓練について（要請）

平成 30 年 4 月 26 日付けで、天候等の事情により、硫黄島において所要の訓練が実施できない場合には、米空母艦載機の着陸訓練を 5 月 10 日から 5 月 13 日までの間に米軍岩国基地等において実施するとの報に接しました。

本市ではこれまで、米空母艦載機の岩国基地移駐に伴う、恒常的な空母艦載機着陸訓練施設の県内及び瀬戸内海地域への設置は、周辺地域における騒音被害や事故発生の危険性の増大など、市民の安全・安心が脅かされる懸念があるため、容認できないという意向を、関係自治体と連携し、国に対して繰り返し表明するとともに、中止を要請してきました。

こうした中、岩国基地において、艦載機の着陸訓練の実施の可能性が示されたことは、誠に遺憾です。この訓練が実施されることとなれば、騒音被害等、地元住民に多大な影響を与えることとなり、本市としては、容認することはできません。

つきましては、米空母艦載機の着陸訓練の実施について、岩国基地を使用することなく、硫黄島で所要の訓練を完了するよう、また、今後の訓練において、硫黄島の代替施設として岩国基地を指定しないよう、米側に求めることを要請します。

平成 30 年 4 月 27 日

江田島市長 明 岳 周 作



岩国基地における空母艦載機着陸訓練について（要請）

2018年4月26日付けで、天候等の事情により、硫黄島において所要の訓練が実施できない場合には、米空母艦載機の着陸訓練を、5月10日から5月13日までの間に米軍岩国基地等において実施するとの報に接しました。

本市ではこれまで、米空母艦載機の岩国基地移駐に伴う、恒常的な空母艦載機着陸訓練施設の県内及び瀬戸内海地域への設置は、周辺地域における騒音被害や事故発生の危険性の増大など、市民の安全・安心が脅かされる懸念があるため、容認できないという意向を、関係自治体と連携し、国に対して繰り返し表明するとともに、中止を要請してきました。

こうした中、岩国基地において、艦載機の着陸訓練の実施の可能性が示されたことは、誠に遺憾です。この訓練が実施されることとなれば、騒音被害等、地元住民に多大な影響を与えることとなり、本市としては、容認することはできません。

つきましては、米空母艦載機の訓練の実施について、岩国基地を使用することなく、硫黄島で所要の訓練を完了するよう、また、今後の訓練において、硫黄島の代替施設として岩国基地を指定しないよう要請します。

2018年4月27日

アメリカ合衆国駐日本国特命全権大使
ウィリアム・F・ハガティ 様

江田島市長 明 岳 周 作



岩国基地における空母艦載機着陸訓練について（要請）

2018年4月26日付けで、天候等の事情により、硫黄島において所要の訓練が実施できない場合には、米空母艦載機の着陸訓練を、5月10日から5月13日までの間に米軍岩国基地等において実施するとの報に接しました。

本市ではこれまで、米空母艦載機の岩国基地移駐に伴う、恒常的な空母艦載機着陸訓練施設の県内及び瀬戸内海地域への設置は、周辺地域における騒音被害や事故発生の危険性の増大など、市民の安全・安心が脅かされる懸念があるため、容認できないという意向を、関係自治体と連携し、国に対して繰り返し表明するとともに、中止を要請してきました。

こうした中、岩国基地において、艦載機の着陸訓練の実施の可能性が示されたことは、誠に遺憾です。この訓練が実施されることとなれば、騒音被害等、地元住民に多大な影響を与えることとなり、本市としては、容認することはできません。

つきましては、米空母艦載機の訓練の実施について、岩国基地を使用することなく、硫黄島で所要の訓練を完了するよう、また、今後の訓練において、硫黄島の代替施設として岩国基地を指定しないよう要請します。

2018年4月27日

米海兵隊岩国航空基地司令官
リチャード・F・ファースト大佐 様

江田島市長 明 岳 周 作

